

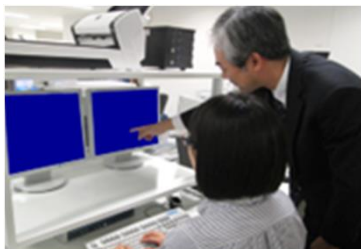


警察庁 デジタル部門の技官採用

NPA DIGITAL

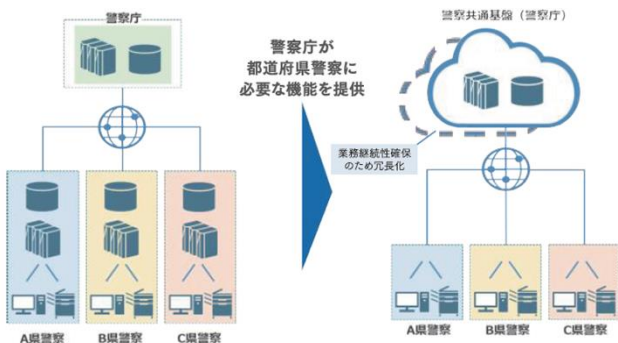
全国警察の未来を支えるDX推進役として

国民の安全・安心を守る



警察のデジタル部門に課せられるミッション

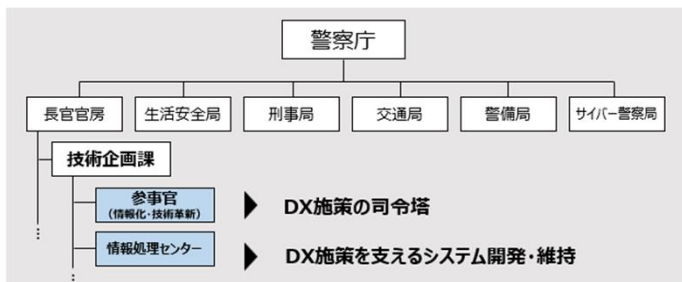
技術革新や少子高齢化等の進展が社会に大きな変革をもたらす中、警察では警察活動の高度化・合理化を図るため、情報システムの整備や所管する行政手続のオンライン化を推進しています。例えば、データ利活用をより一層効果的に活用するため、警察庁、都道府県警察それぞれが個別に構築してきた情報システムを集約・統合する警察共通基盤の構築等の大規模事業を推進しています。



デジタル部門の組織体制

デジタル化施策の推進に当たり、警察庁には参事官（情報化・技術革新）、情報処理センターが設置されています。

参事官（情報化・技術革新）はDX施策の司令塔としてプロジェクト全体の企画や管理に、情報処理センターは個別システムの開発や運用に取り組んでいます。



デジタル部門の技官の主な活躍のフィールド

第一線の現場の声をもとに警察活動の未来を創造する

①情報システム整備に関する戦略的推進

常に第一線の現場の声や最新の技術情報を収集し、導入による効果やその活用のあり方について、継続的に検討するとともに、警察全体の情報システムの整備に関する取組が戦略的に進められるよう、全体管理を行っています。

②情報システムの整備

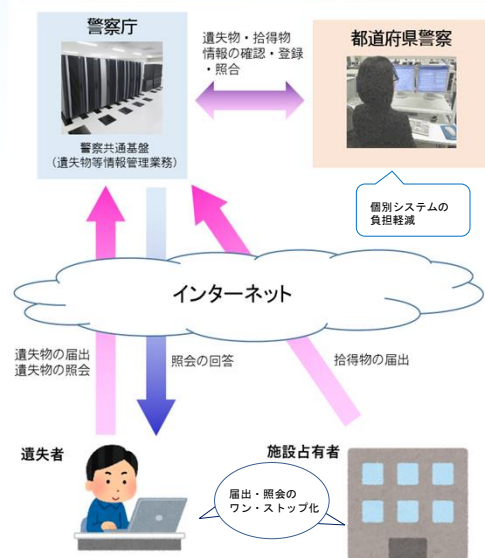
刑事、交通、警備等の業務を担当する部門と連携し、情報システムが最適なものとなるよう、業務の実態の把握、見直しの検討を行います。

警察の情報システムの整備に当たっては、職員がプログラムを内製する場合もあれば、事業者に設計や開発を委託することもあります。

③情報システムの維持管理

情報システムの運用状況を常時確認やセキュリティ対策の実施により、システムの安定的な運用を維持しています。

DX施策の例：遺失物関連手続のオンライン化



働き方

採用時教養等

採用後は警察大学校等に入校し、警察業務、法令のほか、デジタル部門での勤務に必要な知識・技能を学ぶことができます。

勤務の中で、国内・外国留学、高度な民間研修の受講機会があります。

勤務地

警察庁長官官房技術企画課において自身の知識・技能をいかせる業務に従事し、専門性をかん養していきます。また、能力や適性を踏まえ、他省庁、都道府県警察等で勤務する機会もあります。

ワークライフバランス

育児休業、男性職員の育児参加休暇等の育児と仕事の両立支援制度のほか、勤務時間変更制度（早出遅出勤務）、テレワーク活用制度等の柔軟な働き方を実現する様々な制度が整備されています。

採用情報

- 採用機関：警察庁本庁
- 申込期間：令和7年6月25日（水）10：00～（官庁訪問の予約受付）
- 最終合格発表：令和7年8月12日（火）（予定）
- 受験対象者：次のいずれかの対象者
- ・2025年度国家公務員採用試験一般職試験（大卒程度試験）「技術系全区分」「教養区分（全地域）」「行政区分（全地域）」の第1次試験合格者
 - ・2023年度、2024年度国家公務員採用試験一般職試験（大卒程度試験）「技術系全区分」「行政区分（全地域）」の最終合格者

- 選考方法：人物試験
- 採用時勤務地：採用後は警察庁長官官房技術企画課（東京都内）に配置
- 採用予定数：若干名
- 採用時官職：警察庁技官（国家公務員一般職係員級）